
無題5

ぐるぐる

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

無題5

【コード】

N7033I

【作者名】

ぐるぐる

【あらすじ】

大人になるにつれて、自分に正直に生きて行く事が困難という事に気が付いた。

（前書き）

言うなれば二者択一。

大切なのは自分に正直であること？

誰かこの仮面を剥がしてくれ。

もう沢山だよ。

本当はこんなモノごみ箱にでも棄ててしまいたいんだ。

だけど、コレがないと生きていけない。

嫌になるよホント。

自分の弱さに。

時間が経つにつれて仮面は仮面じゃなくなった。

そして気が付いた。

何処も、かしこも、仮面だらけだったんだって。

キミを除いては。

夜空に散らばっている星。

仮面を着けた今でも綺麗に思う。

でも、昔と何かが違う。

幼少の頃に見た星とは、寸分違わぬ輝きを放っているはずなのに。

環境が悪くなったんだ……。

その時僕はそう思う事にした。

身体が侵食されていく。

手が、足が、全ての一挙一動に仮面が指令を出しているように思えてくるよ。

コレってホントに俺なのか？

何だか蚊帳の外に居る気がして

自分の身体を誰かが操っているのを、横で見ているような

そんな感覚。

その時、初めてキミに苛立ちを覚えたよ。

キミはこんな思いをしていないんだってことに。

自分の責任だって解ってるくせに。

もう手遅れって事も、コレがないと生きていけないって事もわかってる。

でも、やっぱりダメみたいだ。

自分に腹が立って我慢出来そうになかったんだ。

キミがそうした様に、僕も同じ道を歩くことにするよ。

苦しい思いをしたって

泣いてる顔を見られたって

あるがままに生きて行くことと思っ。

今夜も星が綺麗だよ。

キミの星を見つかるまでここを動くつもりはないよ。

(後書き)

どつという生き方を選択したって、答えが出るのは何十年って先。

だったら何回も振り返って見れば良い と思います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7033i/>

無題5

2011年10月3日21時10分発行